FFujikura

FUJIKURA No.503 2025 05

佐倉事業所 SWR® 新工場が稼働開始

千葉県の佐倉事業所内で建設を進めていた当社のSWR®新工場が竣工し、このたび稼働が開始され、2月17日に開所式を執り行いました。

新工場では、当社独自の細径高密度型光ファイバケーブル (Wrapping Tube Cable[®]:以下WTC[®])内に実装される間欠固定型光ファイバリボン(Spider Web Ribbon[®]:以下SWR[®])を生産します。

今回の稼働開始により、SWR®の生産量は光ファイバ長ベースで約30%増加する見込みです。

近年、生成AIの進展に伴うデータトラフィックが急速に増加

し、大容量高速通信、低遅延通信に対する要求がますます高 まっています。各国では光ブロードバンドやデータセンタの整備 が増加し、今後も継続した需要が見込まれます。

SWR® 新工場では、自社開発の製造装置やものづくりDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用により、需要増に対応する生産能力の強化だけでなく、高い品質と生産性を追求しています。また、GX(グリーントランスフォーメーション)技術を積極的に導入し、当社初のカーボンニュートラルを目指します。

新工場の稼働を通じて、高度情報化社会の実現に向け、今後も貢献していきます。

*Spider Web Ribbon®、SWR®、Wrapping Tube Cable®、WTC®は当社の登録商標です。



稼働を開始した佐倉事業所内の新工場



開所式でのテープカットの様子

■ 新工場の概要

所在地	佐倉事業所(千葉県佐倉市六崎 1440)所内
建屋面積	約 3000 ㎡
投資額	約 100 億円

SWR®/WTC® 製品紹介サイト https://www.optic-product.fujikura.com/optical-fiber-cables/jp/



■SDGs 17目標に該当するポイント

当社独自の技術を生かしたSWR®の生産を通じて、高度情報化社会の実現に貢献します。









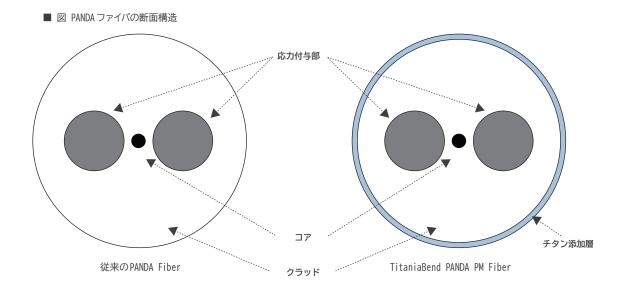
当社は、800Gbit/秒以上の情報伝送が可能な次世代光トランシーバに対応した「TitaniaBend PANDA PM Fiber」を米国コーニング社と共同開発し、2025年度から当製品のサンプル出荷を開始します。

AIアプリケーションが急速に増加する中、より高速かつ大容量の光通信が必要になっています。高速大容量通信に必要な光通信ネットワークにおいては、電気信号と光信号を変換する光トランシーバが使用されます。通信トラフィックの増加に対応するため、近年、光トランシーバの集積化と小型化が進められてきました。光トランシーバに使用される偏波保持光ファイバ(PANDA Fiber)は、限られたスペースに収納する必要があり、より小さな許容曲げ半径が求められています。

「TitaniaBend PANDA PM Fiber」は、短い長さでもシングルモード動作を実現する光ファイバ設計を採用、加えて、光ファイバのガラス表面にチタン添加層を設けることで、小径曲げ環境下での光学的特性と機械的信頼性を両立しました。曲げ半径5mm以下の厳しい曲げ条件にも対応でき、きつい曲げが加わった際の曲げ損失を従来製品比で最大約9割低減します。

当社はコーニング社と共同で、次世代の光トランシーバに最適なソリューションとして、2025年1月25日 ~ 30 日に米国サンフランシスコで開催された「SPIE Photonics West 2025」で「TitaniaBend PANDA PM Fiber」を発表しました。

当社は高度情報化社会の実現に向け、今後も高品質な製品開発に取り組んでいきます。



■SDGs 17目標に該当するポイント

この製品は次世代の光トランシーバで使用されます。 革新的な技術で、未来の光通信の発展に貢献します。







── 光ファイバ事業部:opticalfiber@jp.fujikura.com



Data Center Japan 2025出展のご案内

当社は、2025年3月18日および19日に東京都立産業貿易センター浜松町館4階、5階で開催される「Data Center Japan 2025」に出展します。本イベントは、日本データセンター協会(JDCC)が設立15周年を記念して主催するもので、データセンタ業界に関連する最新技術、製品、サービスを一堂に紹介する場です。急速に成長を遂げるデータセンタ市場をはじめ、クラウドサービスやAIなど、デジタルインフラストラクチャの進化に対応するため、多くの注目を集めるイベントとなっています。

当社のブースでは、次世代超小型MMC/MDC光配線ソリューション、DCI(データセンタインターコネクト)向け光ファイバケーブル(SWR®/WTC®)、One-Click® Cleaner PRO、光ファイバ融着接続機など、データセンタ向け光関連製品を展示します。また、「最新のDC向け光ファイバケーブルの技術動向」をテーマにしたセミナーにも登壇し、当社の技術力と最新情報をご紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしています。

*SWR®、WTC®およびOne-Click®は当社の登録商標です。



展示会

 \Box

時: 2025年3月18日(火)19日(水) 10:00~17:00

場 所:東京都立産業貿易センター浜松町館 フジクラブース:4A24(4階)

内 容:データセンタ向け光関連製品

公式サイト: https://f2ff.jp/event/dcjapan





MMC コネクタ

One-Click® Cleaner PRO

セミナー

日 時:2025年3月19日(水)14:20~14:50

場 所:東京都立産業貿易センター浜松町館 RoomA (4F)

講 演 者:光ケーブル営業部 グループ長 富川 浩二

います。

題 目:最新のDC向け光ファイバケーブルの技術動向

内 容:近年 AI の性能が飛躍的に向上したことで生成 AI の需要が大幅に拡大しており、これに伴い、 データセンタ間の接続に使用される光ファイバケーブルの多心化、低損失化の要望が高まって

本講演では、光ファイバの基礎・光ファイバケーブル変遷の歴史、および近年データセンタ間の接続に使用されている最新の光ファイバケーブルについてご紹介します。

セミナー詳細: https://f2ff.jp/introduction/10297?event_id=dcjapan



■SDGs 17目標に該当するポイント

当社の次世代超小型光コネクタ技術および光ケーブリングソリューションを通じて次世代 光ファイバネットワーク構築を支援し、世界中の産業や生活の基盤となる社会インフラの 発展に貢献します。







「立体配線成形技術の開発」エレクトロニクス実装学会 講演大会優秀賞を受賞

当社は、一般社団法人エレクトロニクス実装学会が主催する 第38回エレクトロニクス春季講演大会において、優秀賞を受賞 しました。本賞は、同大会での学術・技術的に優れた講演発表 および発表論文に対して授賞されるものです。

今回の受賞では、真空・圧空成形法および転写印刷法の適 用により、ABSやポリカーボネートなどの熱可塑性樹脂上に外部 端子との接続用テール配線を有する立体かつ多層の回路形成を 可能にしたことが評価されました。

成形加工温度での伸長性の高い銀ペーストを開発し、接着層 の構造、保護レジストの改善により、立体の曲面において深さ 10mmまで追随な可能な立体配線を開発しました。

従来の組み立て作業の時間を短縮できるほか、製品のデザイ ン性の向上、部品点数の削減が可能となり、小型電子機器や車 載モジュールのように、三次元形状で動作する製品のさらなる 普及に寄与します。

当社では今後も多様化が進む顧客ニーズにこたえる研究開発 および製品の提供を続けていきます。



受賞した電子部品事業部 鳥井純一氏

■ 図1 立体配線(基材:ABS)



■ 図2 静電容量型立体スイッチ(基材:ポリカーボネート)



■SDGs 17目標に該当するポイント

本技術でお客様の生産性、意匠性の向上に貢献していきます。





電子部品事業部: ask-mbsw@jp.fujikura.com



株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

"つなぐ"テクノロジー™ 製品ニュース No.503 / 発行: 2025 年 3 月

編集兼発行責任者:山田 由美

〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 https://www.fujikura.co.jp

■ 本号に関するお問合せ 広報グループ www.admin@jp.fujikura.com



見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザイン **FONT** フォントを採用しています。



